

工場からのお知らせ ～第1・2ブロック～

中

央清掃工場 第19回東京湾大華火祭が開催されました

平成18年8月13日(日)に第19回東京湾大華火祭が開催されました。12日(土)荒天のため順延されたもので、当日は、天気にも恵まれ約61万人(主催者発表)の方々が花火を堪能されました。

工場では、搬入路と駐車場敷地の一部を観覧会場として提供し、地元のイベントに参画しております。また、当日は、工場にも自主警備本部を設置し、職員を配置するとともに委託警備員による警備を実施し、花火を見に来られる方々の安全を確保することに努めました。今後とも地元のイベントに積極的に協力し、地域に根ざした工場を目指したいと考えています。



港

清掃工場 ナイジェリア国立政策戦略研究所(NIPPS)の来場について

ナイジェリア連邦共和国の各省庁や軍要人の研修・研究機関である同研究所研修団(マラム・モハメド団長他12名)は、6月7日、工場に隣接する港区の港資源化センターと当工場の視察を行いました。清掃工場の採算性や同国のプラスチックやナイロン袋などのごみ処理の現状と課題について、実質的な意見交換が行われました。



北

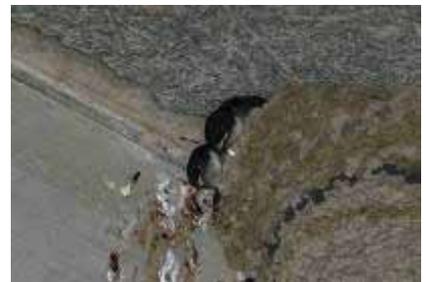
清掃工場 イワツバメが巣を作りました

工場の搬出路出口付近の天井にイワツバメが巣を作りました。5月頃から作り始めた巣は、現在十数個ありますが、秋風とともにすべてのひなたちは巣立ちました。

本来、海岸や高山の岩場に営巣していたものが、近年は、都会のビルや橋などで繁殖する例が増えているとのこと。

ほとんどのイワツバメは、前年作った巣を補修し再利用します。

人間は意識的にリサイクルを進めているのに比べ、イワツバメは本能的にリサイクルを身につけているようです。来年の春に、沢山のイワツバメの飛来を見ることができると期待しています。



工場からのお知らせ ～第3ブロック～

品

川清掃工場 7月は初めて月間受電ゼロを達成!

品川清掃工場は平成18年3月16日から本稼動し、第1回目の中間点検を5月と6月に実施しました。7月は「受電ゼロ」を目標にかかげ、焼却炉から毎時間50トンの蒸気を安定的に発生させ、タービン発電機を一度も停止させずに運転し受電ゼロを達成しました。電気の基本料金等は支払いましたので差し引き1,700万円の経費節減です。1か月間毎日、清掃一組内で唯一の充放電型発電装置(NAS電池)を効果的に活用し、また梅雨時の水分の多いごみも安定的に燃やすよう努力を積み上げた結果です。これからも安定した焼却を行い、職員一丸となって受電ゼロを目指します。